

第 69 回全国高等学校軟式野球選手権広島県予選大会要項

- 1 主 催 (一財)広島県高等学校野球連盟
- 2 共 催 広島県教育委員会
- 3 後 援 呉市・呉市教育委員会・広島市・広島市教育委員会・尾道市・尾道市教育委員会・朝日新聞広島総局・毎日新聞広島支局
- 4 期 日 令和 6 年 7 月 21 日 (日) ～ 7 月 27 日 (土) (雨天順延含む)
予備日 7 月 28 日 (日)
- 5 会 場 鶴岡一人記念球場 (7 月 21 日～27 日)
予備球場 : Balcom BMW Stadium (7 月 24 日～26 日)
予備日球場 : しまなみ球場 (7 月 28 日)
- 6 試合方法 (1) トーナメント方式により代表決定戦まで行う。
(2) 得点差によるコールドゲームは 5 回以降 10 点、7 回以降 7 点差以上とする。※代表決定戦を含む。
(3) 天候状態などで球審が試合の途中で打ち切りを命じた場合は、行われた回数に関係なく、翌日以降に勝敗を決する (通常は 9 回、延長戦ならびにタイブレークになった場合も含む) まで継続して試合を行う。 (高校野球特別規則 22)
(4) 延長 10 回以降はタイブレーク制 (無死一塁・二塁の継続打順) を実施し、15 回を終了し決着していない場合はそのまま試合を続行する。ただし、1 人の投手が登板できるイニング数については 15 イニング以内を限度とする。
(5) 1 人の投手が投球できる総数は 1 週間 500 球以内とする。 (高校野球特別規則・附記)
(6) 選手の体調管理・熱中症対策として、5 回終了時に整備も含め 10 分間のクーリングタイムを設ける。詳細は実施要項にて確認すること。また、9 回終了時に試合が終了していなければ、整備等も含め 5 分間の給水時間を設ける。
(7) 照明施設がある球場では、ナイターを行うこともある。
(8) 日程変更のときは球場の変更もある。
- 7 試合規則 令和 6 年度公認野球規則・アマチュア野球内規・高校野球特別規則・広島県高等学校野球連盟試合細則及び注意事項による。
- 8 選手資格 令和 6 年度大会参加者資格規定に準ずる。
- 9 試合球 広島県高等学校野球連盟使用球 (ケンコーボールの M 号)
- 10 出場人数 責任教師 1 名、監督 1 名、記録員 1 名、選手 20 名以内

11 表 彰 代表校が3校なので表彰は行わない。

12 申込規定 令和6年6月21日（金）正午まで。

※加盟校周知済

13 抽 選 会 令和6年6月22日（土）

※加盟校周知済

14 選手変更 登録選手に変更がある場合、「選手登録変更届」（データ）を7月18（木）正午までに事務局へメールで送信する。背番号のみの変更は認めない。

※ 感染症（学校保健安全法施行規則第18条に定める感染症）による変更の場合のみ、選手変更した者を再登録する場合、感染が確認されなければ、次試合から可とし、感染を確認すれば、原則として同規則第19条の出席停止期間を経過してからとする。

15 開 会 式 令和6年7月21日（日）10:00～ 鶴岡一人記念球場

16 そ の 他

- (1) 出場選手の試合中の事故については、主催者で応急処置を行うが、それ以降は各学校の責任で措置すること。スタンドの関係者についても、注意喚起すること。
- (2) メンバー交換は試合開始予定時刻の1時間前とし、責任教師は所定のオーダーシート5部と「投球数集計表」（初戦以外）を持参のうえ、主将及びサポーター、テーピング、サングラスが必要な選手を引率し、指定された場所で交換に立ち会う。第1試合は40分前とする。（開幕試合は除く）
- (3) 責任教師・監督を変更する場合は、事務局に変更届をメールで提出すること。（試合当日でも可）変更届を必ず試合会場に持参し、メンバー交換のときに提示すること。
- (4) 試合球、投手用ロジンは連盟で準備する。バッターが使用するロジンは各校で準備・使用すること。
- (5) 第1試合のグラウンドづくりは、第1試合に対戦する両チームで行う。（決定戦及び開幕試合は除く）
- (6) 第1試合の大会補助員は第2試合の両チームで行う。第2試合以降は、前の試合の勝利チームが試合終了後グラウンド整備をし、次の試合の大会補助役員として行う。（決定戦は除く）
- (7) 本大会において代表校3校は8月3日（土）・4日（日）にビジコム柳井スタジアムで開催される第69回全国高等学校軟式野球選手権西中国大会の出場権を得る。